



OITA WEEKLY

第36回例会 2023年6月27日 No. 3458

例会／毎週火曜日 12:30 トキハ会館4F
会長 杉原正晴／幹事 山本舜治

さよなら夜の例会

於：ホテル日航大分オアシスタワー 3階紅梅の間

点 鐘	18時30分
ロータリーソング	四つのテストの歌
ゲスト・ビジター紹介	杉原 会長
会長の時間	杉原 会長
出席及び幹事報告	山本 幹事
委員会報告	関係委員長
ニコボックス	森若 S. A. A.
今週のお祝い	
100%出席	中野 通孝 会員 12年
結婚記念日	武石 誠二 会員 6月30日
会員誕生日	小野 日出明 会員 6月28日

クラブ協議会（全員協議会）	クラブ細則の改正について
2022-23年度ホームクラブ出席優秀賞	
新旧会長幹事引継ぎ式	
バッジ交換及び記念品贈呈	
・2022-23年度	杉原 正晴 会長 山本 舜治 幹事
・2023-24年度	馬場 ヒロ子 会長 永田 悠三郎 幹事
懇親会	クラブ管理運営委員会

第35回 6月20日 例会記録

出席報告	
会員総数	49名
(免除会員)	(0)
出席総数	30名
(免除会員)	(0)
出席率	66.67%
ゲスト	1名
ビジター	0名
5月30日 修正出席率	93.62%

会長の時間 杉原会長

早いもので、会長の話も本日と次回あと2回となりました。ロータリーの会長をお引受けする時、最も心配していたのがこの会長の話をどうこなしていくかでありましたのに、いざ始めてみますと私の幼少期からの様々なエピソードをお話ししていく内に、あっという間にラス前となりました。

本日の会長の話は、私が大分交通の社長に就任して以降の主な出来事をお話したいと思っております。2010年の年末、前任の幸重社長から翌年4月1日付で社長就任の内示がありました。社長就任直前に東日本大震災が起り、又プライベートでは私が敬愛していた家内の母親がなくなるなど予期せぬ出来事がありましたが、何とか4月1日を迎えました。社長就任にあたって私は、第1にバスの安全安心運行、有責事故の激減、第2に平成12年度決算で生じた多額赤字による繰越損益の早期の黒字化、第3に昭和46年度以降実施してこなかった配当の復活の3点を経営目標として掲げました。この内第2の繰越損益の黒字化は平成25年度決算で達成し、第3の復配については平成30年度決算で48年ぶりの配当を行いました。残念ながらコロナの影響で令和2年度から再び無配に陥りましたが令和4年度決算においては何とんでも再び配当すべく鋭意検討しているところであります。

目標の第1のバスの安全については、死亡事故、飲酒に絡む事故などの重大事故こそないものの依然として軽微な有責事故、例えば、営業所に帰って他のバスや建物に接触する、無理して幅寄せして他の車両や物に接触するといった事故ですが、これが相変わらず減らすことができずに現在に至っております。公共交通の会社としてはこの安全安心というテーマが最も大事なことであり事故ゼロになるまでずっと取り組まなければならないテーマであると考えます。

話を少し戻しまして、社長就任後経営はほぼ安定して推移しました。と言いますのも経営の足を引っ張っていた不採算事業や不採算子会社の整理を実施すると同時に社内遊休地の積極活用などといった経営施策、例えば安心院・九重両ホテルの売却、ベスト電器事業の撤退、大分菱油の会社清算、4つあったタクシー子会社の2社への整理、中津駅前ビルの解体及び再開発、貸切バス事業の改善スリム化、大分ホーバーの撤退精算、新川本社用地の再開発、賃貸マンションの建設、温浴施設サマサマの撤退、跡地へくら寿司の誘致といった施策であり、こういった各々の施策が確実に会社経営を良い方向に導いていきました。平成27年度決算では会社創業以来の経常利益を計上しましたし、その後の数年間も高水準の利益を確保しました。令和元年度にはラグビーワールドカップが開催され、大分の街も大いに賑わい盛り上がり、大分交通としても順調な経営を続ける事が出来ました。ところがです。令和2年1月から始まった新型コロナウイルスの問題はようやく回復した大分交通に極めて厳しいダメージを与えました。バスのお客様は令和元年度に比べ3割～4割に減少し、令和2年度と3年度は赤字に転落しました。

昔私の父が「人生はサインカーブだ」と言っていたのを思い出します。人生も会社経営も同じだと思えます。会社経営とはどんなに改善を続けていても予想をはるかに超える新たな試練がやって来る。それにめげることなく、休むことなく経営改善努力を続けていかなければならないものだという事をつくづく痛感しているところです。本日の会長の時間を終わります。

幹事報告

山本幹事

1. 当番クラブ（大分中央ロータリークラブ）から大分第4グループのIM参加御礼と収支表が届きました（回覧）

理事会報告

2022-23年度 第20回臨時理事会 6月20日(火)

杉原 馬場 山本 永田 高山 岩尾 橋本仁 麻生

<議題>

1. 新会員の推薦について

橋本均会員より、新会員の推薦

小手川 大助氏の入会について

⇒承認

2. 会員の入会について

◇大重 誠也氏

株式会社SYSKEN 大分支店 支店長

・職業分類 電気通信設備

・推薦会員 三苫 博幸会員

⇒承認

3. 会員の退会について

◇土屋 勝俊会員 6月28日付退会

⇒承認

委員会報告

●インターアクトクラブ指導者研修会報告

2023-2024年度青少年奉仕委員会 西野委員長

国際ロータリー第2720地区2023~2024年度「インターアクトクラブ指導者研修会」が6月17日土曜日13:00~16:30の間「大原学園」で開催され、次年度青少年奉仕委員会委員長として馬場会長エレクトとともに参加致しました。

「インターアクトクラブ指導者研修会」のリアル開催は4年ぶりということで、堀川ガバナー、膳所ガバナーエレクトをはじめ、ロータリアン+インターアクト生〔学生〕+顧問の先生=合計約40名が参加。膳所ガバナーエレクト、井上次期青少年部門長の挨拶の後、瀧次期地区研修リーダーにより「インターアクトクラブの意義」と題した研修がありました。

研修の後、ロータリアン、インターアクト生、顧問の先生に分かれてグループディスカッションを行い、現在のインターアクト活動+課題/解決策等について討議+情報交換を行い、その内容を各グループより発表⇒全員で情報共有致しました。

研修では、ロータリークラブの価値観や活動、青少年交換でのインターアクトの活躍事例やロータリアンの海外活動経験談の紹介があり、

■異文化を学び、認め合うことで、戦争や紛争は起こらない

■日本の伝統的文化である「お先にどうぞ」の精神で学ぶ

■世界平和に寄与できる人材に育とう！

という言葉で締めくくられました。

グループディスカッションでは、コロナ禍でこの2年間活動が制限/できなかったことから、

■各学校のインターアクト部に「やることがない」からと生徒が入部してこない

■アフターコロナ後の活動をどのようにしてよいか分からない

といった課題があがり、その解決策として、

◆ボランティアのイベントを収集のうえ事前に「年間プログラム」を作成

⇒年間プログラムに沿った活動を行う

◆社会福祉協議会に登録（参加）すれば、社会福祉協議会からインターアクト側に各種活動案内が来るので活動が円滑になる

◆インターアクト番号入りの会員証や名刺を作成する

◆インターアクターは就職活動の際非常に有利になることをアピールすることで、学生の入部意欲やモチベーションアップに繋げる

といった案があがりました。

その他、インターアクト例会+年次大会+各クラブの青少年奉仕活動等の共有を行いました。

研修会の最後の堀川ガバナーによる講評では、「参加者全員が情報交換を行うことで参加者間の輪が広がり、非常に有意義な研修会でした。」と評価を頂きました。

本研修会で得た内容を今後の活動に活かしてまいります。

●ダンディーズの全国ロータリークラブ野球大会出場について

橋本仁会員

第38回全国ロータリークラブ野球大会に大分ロータリーダンディーズが登場するのがいよいよ今週末となりました。23日に前夜祭があり、24日の14時10分試合開始です。

練習の成果もあり、三苫投手を始め、他の選手も仕上がりは順調です。お時間がありましたら甲子園での応援よろしくお願いします。

どんな試合であったかにつきましては、来週のさよなら夜の例会で報告します。

●ロータリー財団委員会

中野副委員長

年次基金、ポリオプラス、その他の寄付額が1,000ドルになった方、または追加で1,000ドル寄付された方に認証ピンバッジが贈られます。

矢野 博久会員 ポール・ハリス・フェロー

寄付累計 1,000ドル

卓 話

“子どもが子どもらしく暮らすために”

～地域之力・市民に期待すること～

大分県こども・女性相談支援センター

センター長 河野 洋子 氏

こども家庭庁発足（2023年4月）

●少子化や児童虐待問題、子どもの貧困など取り組みの司令塔

●子どもをめぐる状況

少子化加速・・・出生数 1973年 209万人

→2022年 80万人割れ

いじめや虐待の増加・・・貧しい家庭で十分な食事や教育を受けられない子どももいる

●これまで内閣府や厚生労働省がばらばらに対応

→こども家庭庁に課題を集めて取組を強化（教育分野は文部科学省）

●「こどもまんなか」社会の実現を目指す

子どもの貧困について

子どもの貧困率（相対的貧困*）・・・7人に1人の子ども

が貧困状態

※相対的貧困とは・・・一般市民が「あたり前」と思っているような生活を送れないこと

- 例) ・3食きちんと食べられない ・服や履き物が買えない
- ・高校へ進学できない ・部活に参加できない
- ・塾や予備校に行けない

大分県子どもの生活実態調査の結果について

★調査の概要

家庭の経済状況と子どもの生活や学習等との関係に関する初めての全県的な調査

- ・調査対象者：計39,920人
 - 小学5年生とその保護者(20,720人)
 - 中学2年生とその保護者(19,200人)
- ・調査時期：令和元年9月
- ・調査方法：学校を通じた配布・回収(無記名)
- ・回収率：85.8%(計34,266人)
- ・世帯収入や家族形態等による分析を行ったもの

★世帯収入による分析

国の相対的貧困率の算出方法を参考に基準を設けた

- 収入の少ない世帯の基準 年収128.6万円未満



- ・例えば、4人世帯の場合 年収約257万円未満の世帯
- 2人世帯の場合 年収約181万円未満の世帯

- 収入の少ない世帯の割合

- (全体) 12.2%
- (ひとり親家庭) 小5 35.9%
- 中2 35.5%

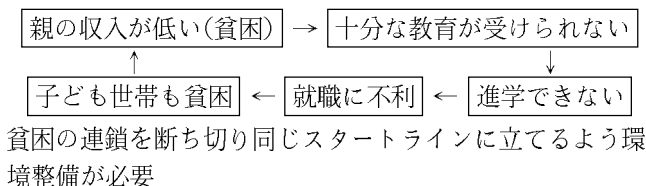
※今回の世帯分類の基準は、世帯の経済状況と子どもの生活状況との関連を把握するためのもの。本県の子どもの貧困率を算出するためのものではない。

★調査結果

- (1) 子どもの生活環境
 - 朝食を摂るか否かは授業の理解度にも相関関係がある
- (2) 子どもの教育・精神面
 - 保護者の収入によって、子どもの学習状況に差が生じ、将来の進路志望にも影響

貧困の連鎖の解消

貧困を放置すると親から子へ連鎖する



ひとり親家庭の厳しい現実

【概況】

子育てと生計の担い手という二重の役割を一人で担う
→生活や健康面、子育て、就労など、様々な困難を抱えている

【コロナの影響】

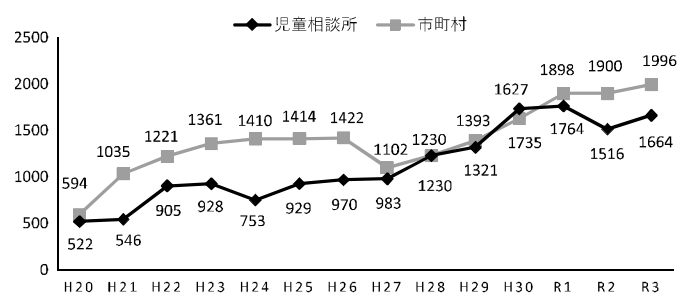
影響が長引く中、雇用や生活への影響が続いている
収入：大幅に減(13.1%) 少し減(27.6%) 影響あり(40.7%)

【母子家庭の勤労収入】

・300万円未満の人数6,706人/7,464人(89.8%) R2 : 84.4%
(R3年度大分県ひとり親家庭実態調査(R3.8)実施から)

増え続ける児童虐待

児童虐待相談対応件数(大分県)



(出典) 福祉行政報告例

小児期の逆境体験(ACEs)

小児期の逆境体験は、生涯を通じて、心身の健康や幸せに影響する

<健全な社会的学習>

- 日々の生活の中で見聞きし、体験するという経験の積み重ね
- 養育者による世話やしつけ、探索行動、ごっこ遊び、家族や様々な人とのやりとりを通して社会の仕組み、生き方を学ぶ
- 自尊感情(自分は大切な人間で生きている価値があるという気持ち)が育つ

<逆境的体験による社会的学習>

- 本来子どもとして受けるべき経験を受けられないことは、孤立無援であることを思い続けさせられる体験
- 安心・安全の欠如、自己肯定感が育まれないことは、傷ついて心理的なダメージを被るだけでなく、自分を健全な方向に発達させるための機会を失う
- 精神・神経、身体感覚、認知、対人関係、学習など、発達全般の問題を示しやすい
→生活全般に影響を及ぼす
- 排除や暴力、支配があたり前という社会を学び、生き抜くための生き方を身につける

子どもの居場所

- 子ども食堂…子どもが安心して過ごせる居場所
- 地域のつながりを育む場所
- ロールモデルに出会う機会が増える場所

大分県の子ども食堂の推移

平成28年度 16か所 → 令和5年3月末 106か所
→将来的には小学校区に一つの子ども食堂があるといい

おわりに

- 子どもに子どもらしい、よい体験を。こうしたことを考える大人を増やす
- 専門家や関係機関だけでなく、官・民ともに地域で支え育てる
- 強みを持ち寄り力をあわせて一緒に…。これからもよろしくお願ひします。

【連絡先】

- こども食堂ネットワーク
097-558-0305 (大分県社会福祉協議会)
- 中央児童相談所 097-544-2016
- 養育里親について
NPO法人chields(チーズ) 097-585-5400

ニコボックス

森若 S. A. A.

●中野 通孝会員（3口）

アウディ大分は昨年度全国で10社だけが選ばれる優秀販売店に入賞することができました。

その副賞として今月25日からフランスパリに行ってきます。そのため来週の例会に参加することができません。あらためて杉原会長、馬場副会長、山本幹事、永田副幹事、一年間大変お世話になりました。

●福田 健二会員（2口）

大分日米協会では、今年度開始する事業として米国オースチン市で開催される夏祭りにおいて、自社商品等を展示できる機会を提供することになりました。

商談というよりアメリカ人から生の感想を収集するための好機だと思います。本日その資料を皆様に配布しましたので、ご関心のある方はぜひご検討ください。

お知らせ

■7月29日(土)・30日(日) R I 2720地区第39回インターアクトクラブ年次大会

29日 13:00～ 日本文理大学 湯布院研修所

2023-24年度青少年奉仕委員会 西野委員長

■10月22日(日) 日田ロータリークラブ創立60周年記念式典

16:00～ マリエールオークパイン日田

例会予定

7月4日(火) クラブ協議会（全員協議会）

7月11日(火) 親睦夜間例会

18:30点鐘～例会行事～懇親会

(ホテル日航大分オアシスタワー3階 紅梅の間)

7月18日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

7月25日(火) 上期クラブ協議会（全員協議会）

大分第4グループ吉良ガバナー補佐訪問
新委員長より活動計画発表

8月1日(火) 膳所ガバナー公式訪問

8月8日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

8月15日(火) 定款第7条第1節に基づく休会

8月22日(火) 通常例会

8月29日(火) 通常例会

例会変更

クラブ名	開催日	会場
別府	6/30(金)	両築別邸
大分城西	7/12(水)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分臨海	7/24(月)	ホテル日航大分オアシスタワー
大分1985		トキハ会館
大分東	7/27(木)	トキハ会館
大分南	7/28(金)	トキハ会館

週報編集担当者

7月4日号 尾野文俊

7月11日号 仲摩和雄

7月25日号 船津英嗣

事務局よりお願い

例会中に委員会報告やその他発表をされた場合は、週報作成の都合上、必ず翌日午前中までに原稿を事務局までメール送信ください。

MEMO

四つのテストの歌

真実かどうか みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか
心がけよう四つのテスト

事務局

大分市府内町1丁目2-15 トキハ会館4F

TEL 097 (532) 0611 FAX 097 (532) 8386

E-mail oitarc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.oita-rc.jp/>